

# 奈良県の経済動向の概要(令和2年4月)

別紙

統計分析課

## 奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
12月				
1月				
2月				
3月				
最新月の動き	▲0.3% 5か月連続の減少	▲12.7% 6か月連続の減少	▲5.4%【前月比】 2か月ぶりの減少	▲13.5% 2か月連続の減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
12月				
1月				
2月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 4か月ぶりの増加	▲0.04% 3か月連続の減少	▲0.04ポイント【前月比】 2か月連続の減少	0.41ポイント【前月比】 2か月ぶりの上昇

	上昇		横ばい		低下
--	----	--	-----	--	----

## (参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は緩やかに回復しつつある。 【10月公表分】	県内経済は緩やかに回復しつつある。 【1月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	緩やかな回復基調が続いている。 【11月公表分】	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。【3月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	足踏み状態となっている 【3月公表分】	弱含んでおり、足下で新型コロナウイルス感染症の影響がみられる【4月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、基調としては緩やかな拡大を続けているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響に揺らがみられている。 【3月公表分】	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、弱い動きとなっている。【4月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。【3月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。【4月公表分】